



陽だまり

Everyone enjoys school life!!

2月号



立志について考える会 (2年生)



1月30日火曜日に、「立志について考える会」を実施しました。この会は、間もなく最上級生となる2年生が、これまでの生活を振り返り、将来の自分の生き方について「志」を立て、新たな気持ちで歩いていく節目となることを願って、玖珂中学校区の地域教育ネット「くらかけネット」の主催で毎年行っているものです。

当日は、くらかけネット副会長の中村さんの気合いの入った「開式のことば」で始まり、大上会長さんからの「立志を迎える生徒へのお話」、生徒1人1人が述べる「立志の言葉」、代表生徒による「立志の作文の朗読」、「学年合唱」「生徒代表お礼の言葉」や「校長先生のお話」と盛りだくさんの内容でしたが、くらかけネットコーディネーターの福谷さんが、落ち着いた口調でアドリブを加えながら司会進行をしてくださり、大変心温まる会となりました。



立志の作文より要約抜粋



将来私は、「誰かを支えることができる仕事がしたい。」と思います。そのために、まずは学校の掃除や給食当番等に一生懸命取り組んだり、誰かを支えることができる仕事について知ったり、周りで支えてくださっている人に感謝の気持ちを伝えたりしたいです。特に家族には、数え切れないほど迷惑をかけてきました。やさしく温かい家族の支えがなければ、生きてこれなかったと思います。だから、まずは感謝を自分で伝えたいです。1組 末廣 朋奈



私は、何事にも挑戦をし、諦めず日々前に進める大人になりたいです。人は失敗することで自ら変わろうと努力します。挑戦するときには不安があるけど、そこで行動できる勇気があることで、自信をもつことができると思います。立志式に自分の将来を考える上で改めて自分自身の人生を大切に、新しいことに挑戦し、新しい自分になりたいです。そして、日々前進することを目標とし、これからがんばっていきたいです。2組 秋友 心結



僕の将来の目標は、電気に携わる職業に就くことです。僕はこれまでの中学校生活を振り返ると先生や友達、家族とのかかわりが強く、何か困っていることがあったら、いつでも助けてもらえることに感謝の気持ちがあります。感謝の気持ちと周りとの思い出や経験を生かし、これから残りの中学校生活を充実させ、自分にとっての目標である電気のことを学ぶ専門学校に行きます。将来自分にあった職業に就き、生涯、人の役に立てるよう、全力を尽くしたいと思います。3組 村上 琉斗

生徒代表お礼の言葉より要約抜粋

元服にちなんで志を立てたことは、私たちにとってとても良い経験になりました。自分の今までを振り返り、将来について考えたことで自分の目標が明確になり、今すべきことを発見することができました。私は、立志について考える会も含めて、行事に向けて学年全員で考えるたびに、この学年は本当に良い学年だなと思います。失敗したときは励まし合い、成功したときは褒め合い、互いに高め合うことができ、一つの目標に向けて協力し合えます。私はいつも思いやり溢れる仲間たちと過ごしていることに幸せを感じています。そして、私たちの成長を見守り、大切に育ててくださっている地域の方々、保護者の方々、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。これから私たちが夢に向かって進んでいく中で壁にぶつかってしまうことも多くあると思います。そんなときでも絶対に諦めず、合唱曲「My Own Road」の歌詞にもあるように、自分の力で拓く道だから一歩ずつでも進み、必ず夢を叶えます。本当にありがとうございました。1組 森本 美映





自分の中の鬼をやっつけよう!



2月といえば節分ですが、皆さんはご家庭で豆まきをされたでしょうか。子どもが中学生くらいになると、豆まきよりも、恵方巻きを食ったり、いわし料理を食ったりして、節分の行事を楽しむご家庭が多いかもしれませんね。

さて、節分の豆まきがいつから始まったかは定かではないようですが、江戸時代には定着し、春が訪れる立春の前日を、季節の節目として、病気や悪いものを「鬼」として追い払い、幸運を呼び込むために行ってきたそうです。



現代では、やっつけるべき鬼は自分の中にいる「だらだら鬼」や「遊び鬼」、「むだ遣い鬼」、「朝寝坊鬼」・・・と1年生の各クラスでは、自分の中の鬼をやっつける決意が掲示されています。ご来校の際には、ぜひご覧ください。



1月26日(金) 1年生職業講話



1月26日に本校のキャリア教育の一貫として、1年生を対象に職業講話を実施しました。生徒たちが、将来社会に出るときには、様々な職業の中から自分で自分の仕事を選び、働くことが必要になります。今回は、「整備士」「看護師」「美容師」「保育士」と比較的身近に感じられる4つの職業と、見えないところで様々な役割をもって働いておられる「自衛隊」の合わせて5つの職業の方を講師にお招きして5講座を開設し、前半と後半に分かれて、1人が2つの職業についての講話を聞きました。



各講座では、その職業に就くまでの道のりや心構え、やりがいや魅力などを話していただきました。実体験からの貴重なお話に生徒たちも熱心にメモをとりながら聞き、積極的に質問をする様子が見られました。

講座修了後の生徒の感想からは、「安全第一」「確実に仕事をする」「何事も一生懸命に取り組むこと」「相手に寄り添い、相手の立場に立つこと」「人の話をよく聞くこと」「元気であること」「時間の使い方を考えること」等たくさんのご感想が、仕事をしていく上で大切だと感じ取ったことが分かり、充実した有意義な時間であったことがうかがえました。



生徒たちは、今回の職業講話をきっかけに、将来の自分の生き方に思いを馳せると共に、これからの学校生活でたくさんの経験を積み、その中で自分自身の強みや弱みを知り、自分に合った職業選択をしていってほしいと思います。講師としてお話をしてくださった地域の皆様、ありがとうございました。



2月2日(金) 小学校への出前授業



今年も中学校教員が小6の児童を対象に授業を行ったり、中2の生徒が、小学校の各クラスにリトルティーチャーとして入ったりして学習活動を行う、出前授業を行いました。小6の児童を対象とした授業は、理科、体育、英語を行い、6年生に中学校の授業の一端を体験してもらいました。6年生もやる気満々の表情で授業に臨み、活動を楽しんでいる様子が見られました。

また、リトルティーチャーとして各クラスに入った生徒たちは、算数の丸付けをしたり、九九の確認をしたり、国語や理科など様々な授業の中に入って児童にアドバイスしたりしましたが、クラス全体によく気を配り、困っている子どもがいたら、気を利かせてサッと動く様子が見られました。小学生も中学生も達成感ややりがいを感じる活動となり、小中一貫校の良さが生かせる取り組みとなりました。

